

主要地方道宮古岩泉線 館合地区の歩道整備が完成

～ 安全で安心な暮らしを支える社会資本の整備 ～

沿岸広域振興局土木部宮古土木センター

県が、平成17年度から宮古市で整備を進めてきた、主要地方道宮古岩泉線館合地区の歩道整備が、平成22年12月6日に完成しました。

当該地区は、歩道が両側に千鳥状に設置されている区間や、歩道が擁壁上にあり高低差がある区間など、歩行者が通行しづらい状況だったため、歩道を利用しない歩行者が多く、交通安全上危険な状況となっていました。このため、歩道整備をはじめるとにあたり、地元の小中学校、高校、NPOなどと「館合地区歩道整備懇談会」を立ち上げ、歩道整備について意見交換を行い、本地区の整備方針を以下のとおり決定しました。

【館合地区歩道整備方針】

千鳥状の歩道は片側に通すこと

一部擁壁上に設置されている歩道は車道面まで下げること

点字ブロックや道路照明などの交通安全施設の充実を図ること

今回の整備箇所は、市街地であるため、岩掘削に伴う騒音対策や、交通量が多いため作業スペースが狭いなど厳しい現場条件での工事となりましたが、本整備により、歩道の高低差の解消や連続性が確保され、歩行者の安全性と利便性の向上が図られました。

